

追手門学院高校演劇部 27年ぶりの全国大会 最高のパフォーマンスに向け茨木市長を表敬訪問

追手門学院高等学校（大阪府茨木市、校長：木内淳詞）の演劇部は、2021年1月22日（金）～1月24日（日）に開催された「第55回近畿高等学校演劇研究大会」において、近畿代表校に選出され、2月26日（金）に全国大会での活躍を誓い茨木市長を表敬訪問します。

春の全国大会への出場は初、春夏を通じて全国大会への出場は27年ぶりです。

今年の近畿大会は、2府4県の代表6校が上演を行い、2校が春と夏の全国大会にそれぞれ選出されました。

本学の演劇部は初日に上演を行い、大学入試制度の変更や、2月～5月の一斉休校や部活動の制限など、先が見えない不安の中でも、悩みを抱える仲間たちにエールを送ろうと、生徒たちが制作した作品『学校へ行こう』（演劇部原案/いしいみちこ構成脚本/神永真美補作）を上演しました。

家庭科の特別課題「理想の人生」を生徒が演じるという展開で始まる作品の中で、生徒たちは「なりたい自分」を全力で演じて、優秀賞を受賞しました。

全国大会は3月26日（金）～28日（日）に北九州芸術劇場で開催され、全国から代表10校が出場します。



27年ぶりに全国大会へ出場する演劇部



近畿大会での上演の様子

【表敬訪問の日時】

日時：2021年2月26日（金）13時～13時半

場所：茨木市役所

【春の全国大会 開催概要】

大会名：第15回春季全国高等学校演劇研究大会

開催日：2021年3月26日（金）～28日（日）

会場：北九州芸術劇場

【ポイント】

- 春夏を通じて27年ぶりに全国大会へ出場決定。全国大会での活躍を誓い茨木市長へ表敬訪問
- 悩みを抱える仲間たちに向けエールを送る作品『学校へ行こう』を上演し、優秀賞を受賞